

# harmony

— 岩手県立中部病院 地域連携便り Vol.44 —

— 新年度を迎えて —



院長 川村 英伸

4月より中部病院に着任致しました、川村です。よろしくお願い致します。桜前線が北上し、岩手県北上市の展勝地では4/9に桜祭りが始まりましたが、開花は4/14まで延びて、見頃は4/19ごろのようです。

日頃、中部医療圏の命と健康を守って頂いている当院の職員および連携施設の皆様に心より感謝申し上げます。

私は、久慈病院（R2-3年度）と宮古病院（R4-6年度）の院長を歴任してきました。沿岸の基幹病院は、医療と介護の複合ニーズが必要な高齢者の入院が増え、もともと周辺に慢性期の病院が少ない医療圏のため、基幹病院での治療が終わっても行き先のない高齢者が増えているという問題が発生しています。在宅医療をカバーする開業医も限られており、地域連携がうまく回っていない地域でした。花巻、北上を中心とする中部圏域は、沿岸より病院や施設が多く、また在宅医療に熱心な開業医も多いことから、このような問題は起きていないと聞きました。基幹病院の使命でもある救急医療と専門的な医療を行うことは、非常に重要であり、継続していかねばならないことです。

世界や日本では、戦争、自然災害、地球温暖化、物価高騰、人口減少、新興感染症対策など、非常に複雑で混沌とした社会となっております。また、医療では高齢者対策、DXの推進、IT化、病院経営対策などこちらも複雑化してきており、我々医療人は強靱な精神力を維持し、その都度明確な意志を伴う対応が求められています。仕方の無いことと流されるのではなく、根拠のある選択をしていかないと生き残っていけない状況となっております。この複雑化した医療の中にあっても、常に求められることは安全な医療の提供です。

当院は「心のかよう患者中心の医療を実践し、地域社会に貢献する」を理念としております。この実践のためには、安全で質の高い医療を提供すること、地域連携を推進することが大切です。当院の職員および連携施設の皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2025年4月15日

## ～～ 岩手県立中部病院 理念と基本方針 ～～

理 念 心のかよう患者中心の医療を実践し、地域社会に貢献する。

- 基本方針
1. 安全で質の高い医療を提供する。
  2. 医療・保健・福祉施設、行政との協働を推進する。
  3. 人間性豊かな医療人を育成する。
  4. 明るく働き甲斐のある職場をつくる。
  5. 健全な病院経営に努める。



# 令和7年度 診療体制のご案内（4月1日現在）

院長 ★川村 英伸 副院長 星野 彰・曾根 克明・越前屋 竹寅・小山田 尚・櫻村 博史・赤坂 俊樹

診療科名	氏名	(★新任)
総合診療科	曾根 克明 ★中屋 流石 田付 亮太 ★永井 聖人	
緩和医療科	星野 彰 綿引 奈苗 田中 詩乃	
血液内科	下瀬川 健二 ★大津 瑛裕 ★北村 佐和子	
呼吸器内科	橋元 達也 ★大和田 幸悠 ★千田 大誠	
消化器内科	渡邊 崇 伊藤 洋信 三上 恵美子 大方 智樹 赤石 千香 矢野 恒太 阿部 寛子 鈴木 吉史	
	★星 史彦 ★松村 貴佳	
循環器内科	石曾根 武徳 紺野 亮 小島 香 辻 佳子 菊池 照人	
小児科	越前屋 竹寅 及川 慶介 ★松尾 悠 ★松田 陽向子	
外科	★川村 英伸 小山田 尚 八重樫 定則 山名 浩樹 ★中西 史 邑田 悟 高屋 快 角掛 聡子	
	★梅邑 明子 ★小坂 真吉 石川 裕貴 熊谷 卓朗	
整形外科	赤坂 俊樹 ★奥田 将人 ★下沖 裕太郎 ★菅原 海斗	
脳神経外科	櫻村 博史 小島 大吾 島田 泰良 ★木村 和人	
形成外科	樋口 浩文	
皮膚科	★濱端 明海 古川 真衣子	
泌尿器科	伊藤 明人 小野 裕太 ★井藤 練刀 ★佐藤 太一	
産婦人科	菅原 千裕 岡田 有加 ★外館 珠帆 ★菊池 悠理乃	
眼科	山下 あさひ 伊藤 愉一胤	
耳鼻咽喉科	古瀬 秀和 ★金城 伸祐	
放射線科	関澤 玄一郎 小原 東也	
麻酔科	中山 裕人 高橋 肇 鈴木 道大 岩岡 里佳	
ハ°インクニツカ科	綿引 奈苗	
呼吸器外科	菅野 紘暢	
脳神経内科	田村 乾一 安田 猛彦 ★山口 隆 ★佐藤 裕里子	
糖尿病・代謝内科	中川 理友紀 小野寺 謙 虫壁 奈津希	
★1年次研修医	岩垣 光紀 岩崎 大弥 加賀谷 祥 河合 遼大 川村 真結子 川守田 佳奈 北御門 健 中谷 碧	
	八谷 渉	
2年次研修医	大南 慶悟 大矢 太郎 鎌田 新 後藤 尚真 紺野 航平 高橋 律 中塚 広樹 平浜 陸	
	町田 晶 松山 大輝 渡邊 慶	

## 地域医療福祉連携室からのお願い ◇当院は予約制です◇

基本的に外来診療は予約制とさせていただきます。

予約なしに紹介状を持参された場合、長時間お待たせしたり、外来の状況によっては予約を取り直して後日来院いただくこともございます。

お手数をおかけしますが、緊急の方以外はFAXで事前予約のお申込をいただくよう、ご協力をお願いいたします。

なお、当日の患者紹介の際は、紹介先の診療科医師に電話にてご一報いただけますと、よりスムーズに患者さんを受け入れることができますので、ご協力をお願いいたします。



発行：岩手県立中部病院

地域医療福祉連携室

〒024 - 8507

岩手県北上市村崎野 17 地割 10 番地

TEL 0197 - 71 - 1511 (代表)

0197 - 71 - 1518 (連携室直通)

FAX 0197 - 71 - 1881 (連携室専用)

URL <http://www.chubu-hp.com/>



2025年4月